

ラインナップ ※アンプ構成により、チャンネル数は変動します。



64ch model



48ch model



32ch model



16ch model

本体仕様

製品構成	メインユニット LX-1000	4個までのアンプモジュール組込可能
	拡張ユニット AU-LX1000EPIO	4個までのアンプモジュール組込可能
電源	AC 100V~240V (ACアダプター使用時)、DC 8V~36V	
最大チャンネル数	64 ch	
冷却方法	自然空冷 (ファンレス: 最大32chまで)	
サンプリング周波数	102.4kHz系列	102.4k / 51.2k / 25.6k / 12.8k / 5.12k / 2.56k / 1.28kHz
	100kHz系列	100k / 50k / 20k / 10k / 5k / 1kHz
	96kHz系列	96k / 48k / 24k / 12k / 6k / 3k / 1.5kHz
	65.54kHz系列	65.536k / 32.768k / 16.384k / 8.192k / 4.096k / 2.048k / 1.024kHz
低速サンプリング	500 / 200 / 100 / 50 / 10 / 5 / 1Hz	
量子化ビット数	16bit / 24bit	
PC用インターフェース	Gigabit Ethernet 1ポート	
記録メディア	SDHC / SDXCカード (CLASS10以上) / PCダイレクト記録可	
最大記録レート	3.2Mbyte/s	40kHz帯域 (102.4kHzサンプリング) × 16bit × 16ch
外形寸法	メインユニット	300(W) × 65(H) × 200(D) mm
	拡張ユニット	300(W) × 44(H) × 200(D) mm
動作温湿度範囲	0~40℃、10~80% (非結露)	
保存温湿度範囲	-20~60℃、5~90% (非結露)	
同期運転	LX-1000同期	最大4台
	VR-24同期	1台
パルス入力 (標準搭載)	入力チャンネル数	2ch
	コネクタ	BNC
	スレシヨドレレベル	±0.5 / 1 / 2.5 / 5 / 10 / 20V
	最大入力電圧	±50V
	最大入力周波数	450kHz
GPS入力 (標準搭載)	入力チャンネル数	1ch
	コネクタ	DX10A-20S (50)
	対応GPSモジュール	Garmin製18x 5Hz
	サンプリング周波数	8kHz
メモ音声	量子化ビット数	8bit
	ファイル形式	WAV
	消費電力	約26W (アナログ入力16chモデル)
質量	約3.1kg (16chモデル)	

付属品

- 取扱説明書 ×1
- ACアダプター ×1
- 設定アプリ LXX-Navi (仮称) ×1

別売アクセサリ

- リモートコントロールユニット ER-LXRC1000



- 冷却ファンユニット
- バッテリーユニット
- バッテリーパック
- バッテリーチャージャー
- GPSレシーバー
- キャリングケース (32chモデル用)
- キャリングケース (16chモデル用)
- フロントハンドル
- 車載アダプター

- TZ-LXFAN1000
- BU-LX1000
- NP-7LS
- JL-2PLUS
- LXGPS18X (5Hz)
- CS-LX1032
- CS-LX1016
- TZ-LXFH1000

安全に関するご注意

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。
- 水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災、感電、故障などの原因となることがあります。

仕様および外観は製品改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ティアック株式会社

<https://datarecorder.jp/> (データレコーダー製品専用サイト)
<https://loadcell.jp/> (ロードセル製品専用サイト)

情報機器事業部 メジャメントプロダクト部 営業課

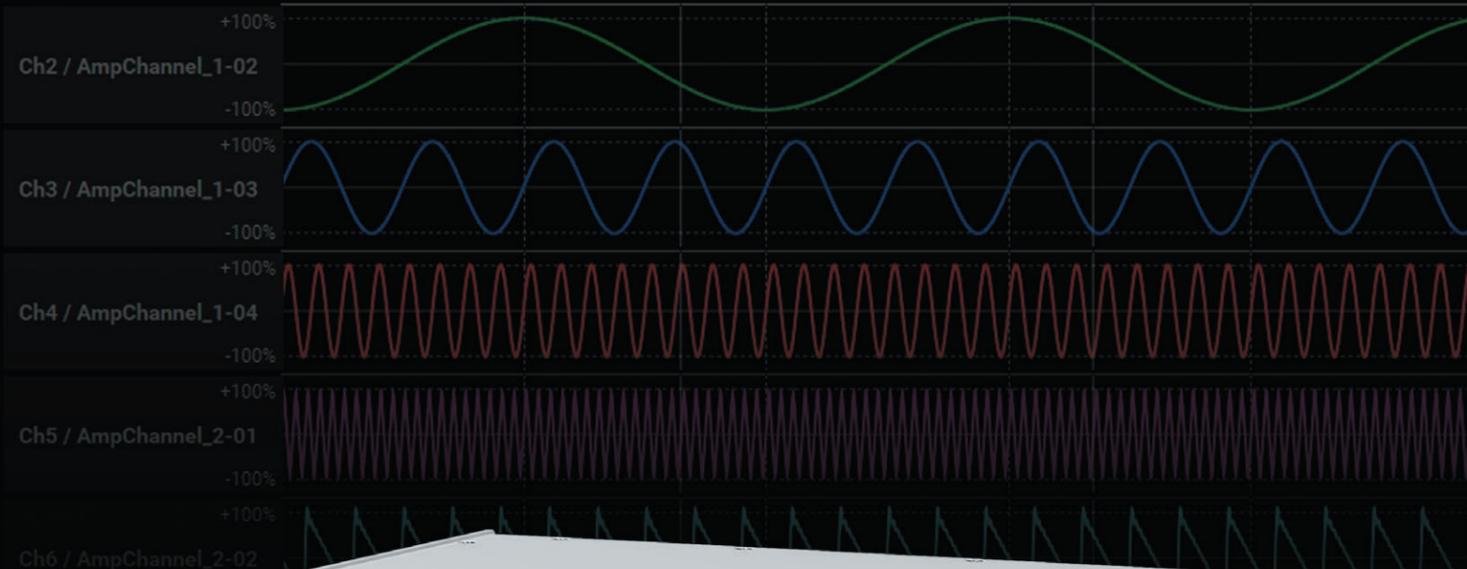
〒206-8530 東京都多摩市落合1-47	TEL 042-356-9161	FAX 042-356-9185
名古屋営業所 〒465-0093 名古屋市中東区一社1-79 第6名昭ビル6F	TEL 052-856-7355	FAX 052-856-7366
大阪営業所 〒541-0041 大阪市中央区北浜2-2-22 北浜中央ビル B1	TEL 06-4706-3905	FAX 06-6231-3082
● 技術的なお問い合わせ 受付時間 9:30~12:00 / 13:00~17:00 (土・日・祝日を除く)	TEL 042-356-9161	FAX 042-356-9185

このカタログの記載内容は2018年11月現在のものです。

PRINTED IN JAPAN 1118 TCJ・ISD-100

TEAC

INTEGRATED LOGGER
LX-1000



16ch model



64ch model



48ch model



32ch model



Remote Control ER-LXRC1000

記録へのさらなる挑戦、そして進化。
インテリジェントロガー





フィールドユース仕様で、充実の機能搭載

可搬性に優れた
小型軽量設計

製品のすべての制御と
データレベルの表示が可能
別売 カラーリモコン

DC 8V ~ 36V 対応
柔軟な電源仕様

さらに、アクセサリも収納可能なキャリングケースもご用意 (オプション)

汎用メディア採用で、媒体の入手性改善と大容量化を実現
記録メディアは汎用性の高いSDカードを採用 (SDXC: 128GBまで対応)
従来モデルに比べ大幅容量アップでさらに使いやすく

ダイナミックレンジの改善
120dB (FFTベース) のワイドダイナミックレンジ実現で
変動の大きい動的信号でも、より正確に記録・再現可能

映像との同期
ティアックのビジュアルレコーダー VR-24 との同期
に対応し、映像とデータの完全同期が容易に実現
PCを使用した映像同期にも対応予定

ファンレス (32ch構成まで)
機器配置の制約を減少。ファンの影響を気に
することなく、クリアな音振測定を実現

標準搭載

パルス

パルス入力
2ch

GPS

GPS入力
Garmin製 18x 5Hz
対応

多チャンネル対応
1ユニットで最大64chに対応
4ユニット(最大256ch)まで同期でき
複雑な事象の検証にも活用可能

アンプモジュールの多様化
TEDS対応の電圧出力型センサー用アナログ入力アンプ、入力信号電圧変換アナログ出力アンプ、CANデータ収録モジュール、ひずみゲージ式変換器用アンプ、熱電対用アンプなど、様々なアンプモジュールをラインナップ



チャンネル増減の柔軟化と簡素化
1アンプのチャンネル構成: 4ch (CANは2ポート)
入替えを前提とした分かりやすい構成で、測定対象
に合わせて必要なアンプを即座に設定可能

入出力アンプモジュール

アナログ

加速度計、マイクなど

**アナログ入力アンプ
AR-LXPA1000**

入力チャンネル数:	4ch
入力コネクタ:	DC / AC / IEPE (TEDS対応) 切替え
入力形式:	BNC (Z=50Ω Type)
入力インピーダンス:	不平衡
入力レンジ:	1MΩ
AD変換方式:	±0.1 / 0.2 / 0.5 / 1 / 2 / 5 / 10 / 50V
ダイナミックレンジ:	ΔΣ変換方式
ハイパスフィルター:	120dB (10Vレンジ) FFTベース
聴感補正:	OFF / 5Hz (-18dB/oct) / パワーフィルター
IEPEセンサー供給電源:	FLAT / A / C
IEPEセンサー断線検出:	DC 24V / 4mA
	IEPEセンサー断線検出: 各チャンネルに検出機能搭載

アナログ

**アナログ出力アンプ
AR-LXAO1000**

出力チャンネル数:	4ch
出力コネクタ:	BNC (Z=50Ω Type)
出力形式:	不平衡
出力インピーダンス:	50Ω
出力レンジ切替:	±1~5V (0.1Vステップ可変)
オーバーレンジ:	±127% (+2.08dB)
DA変換方式:	ΔΣ変換方式

CAN

**CANモジュール
AR-LXCAN1000**

入力ポート数:	2ポート
入力コネクタ:	D-sub 9ピン
対応プロトコル:	ISO-1189801
	2.0A (11bit標準ID) / 2.0B (29bit拡張ID)
ボーレート:	125 / 200 / 250 / 500 / 1000 kbps
収録モード:	丸録り / IDフィルター / シグナル
パスモード:	Normal / Listen Only
	※次世代の車載ネットワーク CAN FDにも対応予定

(2019年秋リリース予定)

ひずみ

**ひずみアンプ
AR-LXST1000**

入力チャンネル数: 4ch

ロードセルなど

(2019年秋リリース予定)

温度

**熱電対アンプ
AR-LXTC1000**

入力チャンネル数: 4ch

(2019年秋リリース予定)

PC制御の強化
パソコンからのフルコントロールや
パソコンへのダイレクト記録が可
能。制御用アプリも使いやすく新
し、データ活用の利便性を向上



リモコンのユーザーインターフェイス
ジョグダイヤルの採用で思い通りに操作が可能
さらに、グラフィカルで判りやすい画面レイアウト

